



「蓄」が膨らむ3日間に！

校長 尾崎 淳一

- 富士山の近くでは、景観条例に基づき、コンビニの看板がこげ茶色に塗装されていました。私の乗った〇組のバスの後方から、「火山灰かなあ……」という素敵なつぶやきが聞こえてきました。最近、富士山は噴火したでしょうか。私は真剣に悩みました。
- ペンションの私の部屋名は「ラベンダー」。内装もパステル調で、爽やかなイメージが私にぴったりです。一人部屋のため、修学旅行に欠かせない「恋バナ」もできず、2日目に備えて早めに寝ました。樹海をさまよう悪夢は見ませんでした。
- 「夢と魔法の王国」では約8時間、何も乗らずに本部待機でした。私の大好きな『空飛ぶダンボ』は、平日なのに30分待ちの大人気でした。竜北3年生も楽しんだことでしょう。行列にはファミリーとカップルばかりで、シングルライドの私はダンボライドを諦めました。
- グループに1台のデジカメを渡された竜北生は、グループの仲間や園内の景色を撮影していました。別にいじけたり寂しい思いをしったりしてはいませんが、「一緒に写真を撮りましょう！」という竜北生の声が、8時間待っても私には一度も聞こえませんでした……。
- 知立市の日常生活では見たことのない、王国専用のサングラスやカチューシャ、キャップを身に付けた竜北生をたくさん見ました。せっかくなので私もブームに乗ろうと、ショップで品物を手にしましたが、値札を見た瞬間に諦めました。知立市内でも使用する予定でしたが……。
- 3日目の「東京分散学習」でフリー活動を言い渡された私は、丸の内南口で4時間ほど竜北生の安全を見守りました。芸能界にスカウトされるかと思いましたが、そのような気配は全くありませんでした。内心ホッとしました。

上の文章は、昨年度の修学旅行における、「校長メモ」の抜粋です。昨年度の『校長よりメッセージ』第8号で暴露したものです。素敵な3日間でした！

明日からは、竜北3年生が待ちに待った「令和8年度修学旅行」が始まります。中学校の3年間では、「入学式」「卒業式」「部活動」「定期テスト」などにも匹敵する、心に残る行事です。ただ、親と離れるのが寂しい竜北生もいるのではないのでしょうか。私も、「枕が変わると眠れない」繊細な心の持ち主ですから心配なのです。しかし、皆さんにはたくさんの「仲間」がいるから大丈夫ですね。私は、新幹線の座席も「一人」、ホテルの部屋も「一人」、TDSの行動班も「一人」、横浜や東京での活動も「一人」ですから……。今のところ、せっかく3月に募集した【校長と手を繋いで散歩ツアー in 横浜・東京】への参加者も見当たりませんし……。



4月のはじめには、学年主任をはじめ4名の教員が、現地で丁寧に下見をしてきました。写真から分かるように、大雨の土曜日でした。学年主任が「雨男」なのでしょう。私と学年主任とは24年も昔からの知り合いですが、あの頃のように、「どうして僕のせいなんですか！」と叱られるので、心の中だけに留めておきます。

皆さんの「蓄」が膨らむ3日間になることを願って、「竜北3年生、修学旅行へGo!!」

保護者の皆様のご協力を得て、明日から修学旅行へ出発します。お子様不在の夜は寂しいことでしょう。元気に帰ってまいりますのでお待ちくださいね。「行ってきます！」

(令和8年5月18日)